

平成31年度から令和3年度までの実施施策に係る政策評価書

(防衛省31～3-②)

施策名	能力構築支援					
施策の概要	インド太平洋地域の各国等に対して、その能力向上に向けた自律的・主体的な取組が着実に進展するよう協力することにより、相手国軍隊等が国際の平和及び地域の安定のための役割を適切に果たすことを促進し、我が国にとって望ましい安全保障環境を創出することを目指す。					
達成すべき目標	①自衛隊がこれまで蓄積してきた知見を有効に活用し、外交施策との調整を十分に図り、能力構築支援を実施する 米国・オーストラリア等と連携 ②相手国軍隊等が国際の平和及び地域の安定のための役割を適切に果たすことを促進					
施策の予算額・執行額等	区分		平成31年度	令和2年度	3年度	4年度
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	267 <0>	279 <0>	244 <0>	252 <0>
		補正予算(b)		△ 32 <0>	0 <0>	
		繰越し等(c)		0 <0>	0 <0>	
		合計(a+b+c)		247 <0>	244 <0>	
	執行額(百万円)			85 <0>	76 <0>	

※ 下段<>外書きは、複数の政策にまたがる予算及び複数の政策にまたがると整理できる予算であり、総額の「内数」で掲記している。
※ 令和2年度に現政策体系に応じた予算の組み替えを実施済であるため、平成31年度については予算額のみ記載している。

施策に関する内閣の重要政策 (施政方針演説等のうち主なもの)	中期防衛力整備計画(平成31年度～平成35年度) Ⅲ-5-(3)能力構築支援
-----------------------------------	---

1. 自衛隊がこれまでに蓄積してきた能力を有効に活用することにより、支援対象国の軍等の能力を強化				
測定指標	施策の進捗状況(実績)		目標	達成
	<p>【平成31年度から令和3年度までの主な実績】</p> <p>●平成31年度の実績</p> <p><インドネシア> 人道支援・災害救援に関するセミナー</p> <p><ベトナム> サイバーセキュリティ及び航空救難に関するセミナー並びに水中不発弾処分に関するワークショップ</p> <p><フィリピン> 人道支援・災害救援に関するセミナー</p> <p><カンボジア> PKO(施設)に関する道路測量技術に関する講義・演習</p> <p><ミャンマー> ミャンマー国軍士官学校日本語課程に対する日本語教育環境整備支援、潜水医学に関するセミナー及び航空気象に関するセミナー・実技協議(2回)</p> <p><ラオス> 人道支援・災害救難探索救助・衛生に関する訓練計画立案に係る講義・実習及び実際の訓練に係る実技教育</p> <p><マレーシア> 人道支援・災害救援に関するセミナー</p> <p><パプアニューギニア> 軍楽隊育成に関する演奏・演出技術指導</p> <p><モンゴル> PKO(施設)に関する道路構築教育及び道路構築実習に対する技術指導</p> <p><スリランカ> 航空救難に関するセミナー</p> <p><東ティモール> 施設分野(HARII HAMUTUK)に関する測量及び施設機械整備に係る講義・演習並びに施設作業を通じた技術指導並びに車両整備に係る講義及び技術指導</p> <p>●令和2年度の実績</p> <p><ミャンマー> ミャンマー国軍士官学校日本語課程に対する日本語教育環境整備支援</p>		自衛官等を支援対象国に派遣してのセミナー、実習、技術指導等の実施	③

測定指標	<p>●令和3年度の実績</p> <p><ミャンマー> ミャンマー国軍士官学校日本語課程に対する日本語教育環境整備支援</p> <p><モンゴル> PKO(施設)に関する道路構築教育・道路構築実習及び測量に関する技術支援</p> <p><東ティモール> 施設分野(HARII HAMUTUK)に関する測量及び施設機械整備に係る講義・実習並びに施設作業を通じた技術指導</p> <p><パプアニューギニア> 軍楽隊育成のための演奏・合奏・楽器整備等の技術支援</p> <p><フィリピン> 人道支援・災害救援に係る人命救助機材の取扱いに関する講義及び搜索救助訓練の実施に関する知見共有</p> <p><ベトナム> PKO派遣準備支援及び航空救難に関するセミナー</p>	(続き)自衛官等を支援対象国に派遣してのセミナー、実習、技術指導等の実施	③
	<p>施策の進捗状況(実績)</p>	目標	達成
	<p>【平成31年度から令和3年度までの主な実績】</p> <p>●平成31年度の実績</p> <p><インドネシア> 人道支援・災害救援に関する陸上自衛隊東北方面総監部や日米共同統防災演習の研修等</p> <p><スリランカ> 航空救難に関する航空自衛隊那覇航空救難隊における研修等</p> <p><ミャンマー> 潜水医学に関する海上自衛隊潜水医学実験隊、潜水艦救難艦「ちよだ」等における研修</p> <p><ラオス> 人道支援・災害救難(搜索救助・衛生)に関する陸上自衛隊松本駐屯地等における訓練計画の立案実習等</p> <p><ASEAN> (第3回HA/DRに関する日ASEAN招へいプログラム) ASEAN加盟国及びASEAN事務局から災害対応を担当する国防当局者を招へいた人道支援・災害救援に関するセミナー、机上訓練、防災訓練視察等</p> <p>(第3回日ASEAN乗艦協カプログラム) ブルネイからフィリピンに航行し海自護衛艦「いずも」におけるASEAN全加盟国及びASEAN事務局からの海軍大尉級の参加による国際法セミナー、人道支援・災害救難セミナー、各種訓練視察及び艦務体験</p> <p>●令和2年度の実績</p> <p><カンボジア> PKO(施設)における道路測量技術に関する講義・実習(オンラインで実施)</p> <p><パプアニューギニア> 人道支援・災害救難(施設機械整備)に関する講義(オンラインで実施)</p> <p>●令和3年度の実績</p> <p><ASEAN> 人道支援・災害救援に関するセミナー(オンラインで実施)及びサイバーセキュリティに関するセミナー(オンラインで実施)</p> <p><スリランカ> 航空救難に関するセミナー(オンラインで実施)</p> <p><ラオス> 人道支援・災害救援(搜索救助・衛生)に関するセミナー(オンラインで実施)</p> <p><モンゴル> 人道支援・災害救援(衛生)に関するセミナー(オンラインで実施)</p> <p><フィリピン> 航空医学に関するセミナー(オンラインで実施)</p> <p><ベトナム> PKO派遣準備支援のためのセミナー(オンラインで実施)並びに水中不発弾処分及び潜水医学に関するセミナー(オンラインで実施)</p>	防衛省・自衛隊関連部隊・機関等への支援対象国の実務者等を受け入れての、セミナー、実習、教育訓練等の実施	③
	<p>2. 能力構築支援を積極的に実施する米国、豪州等と連携</p>	目標	達成
	<p>施策の進捗状況(実績)</p>	目標	達成
<p>【平成31年度から令和3年度までの主な実績】</p> <p>●平成31年度の実績</p> <p><東ティモール> 施設分野(HARII HAMUTUK)に関する測量及び施設機械整備に係る講義・実習並びに施設作業を通じた技術指導(日米豪東ティモール4か国から約200名の隊員参加)</p> <p><米国> 米インド太平洋軍主催の能力構築支援に関する会合である安全保障協力理事会(4月)と能力構築ワーキンググループ会合(10月)への参加による能力構築支援分野での日米協力の強化</p> <p>安全保障協力に関する第2回日米政策協議への外務省との参加による米国防省及び米国務省との間で能力構築支援を含む日米協力の強化に係る政策対話の実施</p> <p>●令和2年度の実績</p> <p><米国、オーストラリア等> ・米インド太平洋軍主催の能力構築支援に関する会合である能力構築ワーキンググループ会合(11月)及びそれに連動する日米バイ協議(12月)への外務省及び海上保安庁との参加による能力構築支援分野での日米協力の強化</p> <p>・米インド太平洋軍主催の多国間ワーキンググループ(10月)への参加による能力構築支援分野での米豪等との協力強化</p>	米国や豪州をはじめとする他の支援国との関係強化	③	

●令和3年度の実績
 <東ティモール>
 施設分野(HARII HAMUTUK)に関する測量及び施設機械整備に係る講義・実習並びに施設作業を通じた技術指導(日米豪及びニュージーランドと東ティモール5か国から200名以上に及ぶ隊員の参加)
 <米国、オーストラリア等>
 ・米インド太平洋軍主催の能力構築支援に関する会合である安全保障能力理事会(4月)、構築ワーキンググループ会合(11月)及び日米バイ協議(6月)への外務省及び海上保安庁との参加による能力構築支援分野での日米協力の強化
 ・米インド太平洋軍主催の多国間ワーキンググループ(5月、12月、令和4年2月及び令和4年3月)への参加による能力構築支援分野での米豪等との協力強化

(続き)米国や豪州をはじめとする他の支援国との関係強化

③

3. 政府開発援助(ODA)を始めとする外交政策との調整

施策の進捗状況(実績)

目標

達成

【平成31年度から令和3年度までの主な実績】

●平成31年度の実績

<フィリピン>

フィリピン陸軍に対する人道支援・災害救援(HA/DR)分野の能力構築支援事業と外務省が計画している同軍に対する人命救助機材の供与事業(無償資金協力)との連携を図るため、合同での現地調整出張を実施した。

<ラオス>

ラオス軍に対する人道支援・災害救援(HA/DR)分野の能力構築支援事業の一環で実施した現地実動教育に際して、外務省が平成27年度日ASEAN統合基金(JAIF)を通じて供与した人命救助機材を活用するとともに、同機材の取扱・維持管理要領を指導する専門家を派遣した。

<インドネシア>

インドネシア国軍に対する人道支援・災害救援(HA/DR)分野の能力構築支援事業の一環で実施した招へいプログラムに8名のインドネシア国軍の要員に加え、JICAの費用負担によりインドネシア国家防災庁の職員2名が参加し、インドネシアに対するODAによる取組との連携を図った。

<ミャンマー>

ミャンマー空軍に対する航空気象分野の能力構築支援事業の一環で実施した現地セミナーに際して、JICAによる気象分野の協力に関する情報を得るため、JICA事務所を往訪し、意見交換を実施した。

<フィジー>

フィジー軍に対する衛生分野の能力構築支援事業を形成するための現地出張に際して、JICAによる保健分野の協力との連携の可能性を模索するため、JICA事務所を往訪し、意見交換を実施した。

<マレーシア及びフィリピン>

マレーシア及びフィリピンにおいて、護衛艦「いずも」の寄港の機会を捉えて実施した人道支援・災害救援(HA/DR)セミナーにそれぞれ現地日本大使館及びJICA事務所のODA関係者をオブザーバーとして招待し、当該国におけるODAによる防災分野の取組との連携を図った。

●令和2年度の実績

<フィジー>

フィジー軍に対する衛生分野の能力構築支援事業の招へい事業の計画に際して、JICAによる保健分野の協力との連携の可能性を模索するためJICAと意見交換を実施し今後の協力取り付けるとともに、当該招へい事業に活用可能なJICA関連の資料の提供を受けた。

●令和3年度の実績

<フィリピン>

フィリピン陸軍に対して、ODAにより供与された人命救助機材を活用した人道支援・災害救援分野の能力構築支援事業を行い、同機材の取扱要領や操作救助訓練の実施における知見の共有を図った。

<フィジー>

フィジー軍に対する衛生分野の能力構築支援事業の招へい事業の計画に際して、JICAとの保健分野の協力・連携の可能性を模索するため意見交換を実施した。

政府開発援助(ODA)を始めとする外交政策との更なる連携や補完関係等の推進

③

測定指標

(各行政機関共通区分) ③相当程度進展あり

目標達成度合いの測定結果

(判断根拠)

<測定指標1>

●自衛官等を支援対象国に派遣してのセミナー、実習、技術指導等の実施として、ミャンマー国軍士官学校日本語課程に対する日本語教育環境整備支援等、ASEAN諸国に対する支援を実施する等、目標に向かって着実に進展している。

<測定指標2>

●米国やオーストラリアをはじめとする他の支援国との関係強化として、米インド太平洋軍主催の能力構築支援に関する能力構築ワーキンググループ会合や多国間ワーキンググループに参加し、米豪等との協力を努めており、目標に向かって着実に進展している。

<測定指標3>

●政府開発援助(ODA)を始めとする外交政策との更なる連携や補完関係等の推進として、インドネシア国軍に対する人道支援・災害派遣(HA/DR)分野の能力構築支援事業で、ODAによる取組との連携を図っており、目標に向かって着実に進展している。

以上のことから、相当程度進展ありと判断した。

評価結果	施策の分析	<p><測定指標1> ●各目標に対して、以下の取組により施策の進捗に寄与 ※()書きは目標 (自衛官等を支援対象国に派遣してのセミナー、実習、技術指導等の実施) ・カンボジアに対するPKO(施設)分野の支援、ベトナムに対する航空救難分野の支援等のASEAN諸国に対する支援の実施 (防衛省・自衛隊関連部隊・機関等への支援対象国の実務者等を受け入れての、セミナー、実習、教育訓練等の実施) ・パプアニューギニアにおける人道支援・災害救難(施設機械整備)に関する講義等のASEAN諸国に対する教育訓練等の実施 並びに新型コロナウイルス禍における多数のオンラインセミナーの開催</p> <p><測定指標2> ●目標に対して、以下の取組により施策の進捗に寄与 ※()書きは目標 (米国や豪州をはじめとする他の支援国との関係強化) ・米インド太平洋軍主催の能力構築支援に関する能力構築ワーキンググループ会合参加及び東ティモールでの合同訓練(HARI I HAMUTUK)を通じた米豪等との協力</p> <p><測定指標3> ●目標に対して、以下の取組により施策の進捗に寄与 ※()書きは目標 (政府開発援助(ODA)を始めとする外交政策との更なる連携や補完関係等の推進) ・インドネシア国軍に対する人道支援・災害派遣(HA/DR)分野の能力構築支援事業におけるODAによる取組との連携 ・フィリピン陸軍に対するODAで供与された人命救助機材の取扱いに関する能力構築支援事業の実施</p>
	次期目標等への反映の方向性	<p>①自衛隊がこれまで蓄積してきた知見を有効に活用し、外交施策との調整を十分に図り、能力構築支援を実施する米国・オーストラリア等と連携 ②相手国軍隊等が国際の平和及び地域の安定のための役割を適切に果たすことを促進 東南アジア諸国等に自衛官等を派遣し、人道支援・災害救援に関するセミナー、米インド太平洋軍主催の多国間ワーキンググループにおいて能力構築支援分野での米豪等との協力強化、JICAとの協力・連携に関する意見交換等、引き続き、インド太平洋地域の各国等に自衛隊が蓄積した知見の有効活用し、相手国軍隊が国際の平和及び地域の安定のための役割を果たすことの促進に取り組んでいく。</p>

学識経験を有する者の知見の活用	施策は順調に進展しており、特に意見なし。
政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	<input type="checkbox"/> 防衛省ホームページ <input type="checkbox"/> 防衛白書(令和元年～3年) <input type="checkbox"/> 我が国の防衛と予算(平成31年～令和3年)

担当部局名	防衛政策局	政策評価実施時期	令和4年6月
-------	-------	----------	--------

※ 「測定指標の達成欄」及び「評価結果」の「(各行政機関共通区分)欄」については、達成状況を以下の5段階区分の数字を記入。

①目標超過達成、②目標達成、③相当程度進展あり、④進展が大きくない、⑤目標に向かっていない